

がん細胞周囲は酸性→アルカリ剤(DFP-17729)で中和→**がんが消える**

がん細胞はエサ(糖)を食べて、増殖や転移を起こすが、がん細胞の外に放り出された酸性の老廃物(ウンコやおシッコ)をアルカリ化剤で掃除してやれば、がんは大人しくなる

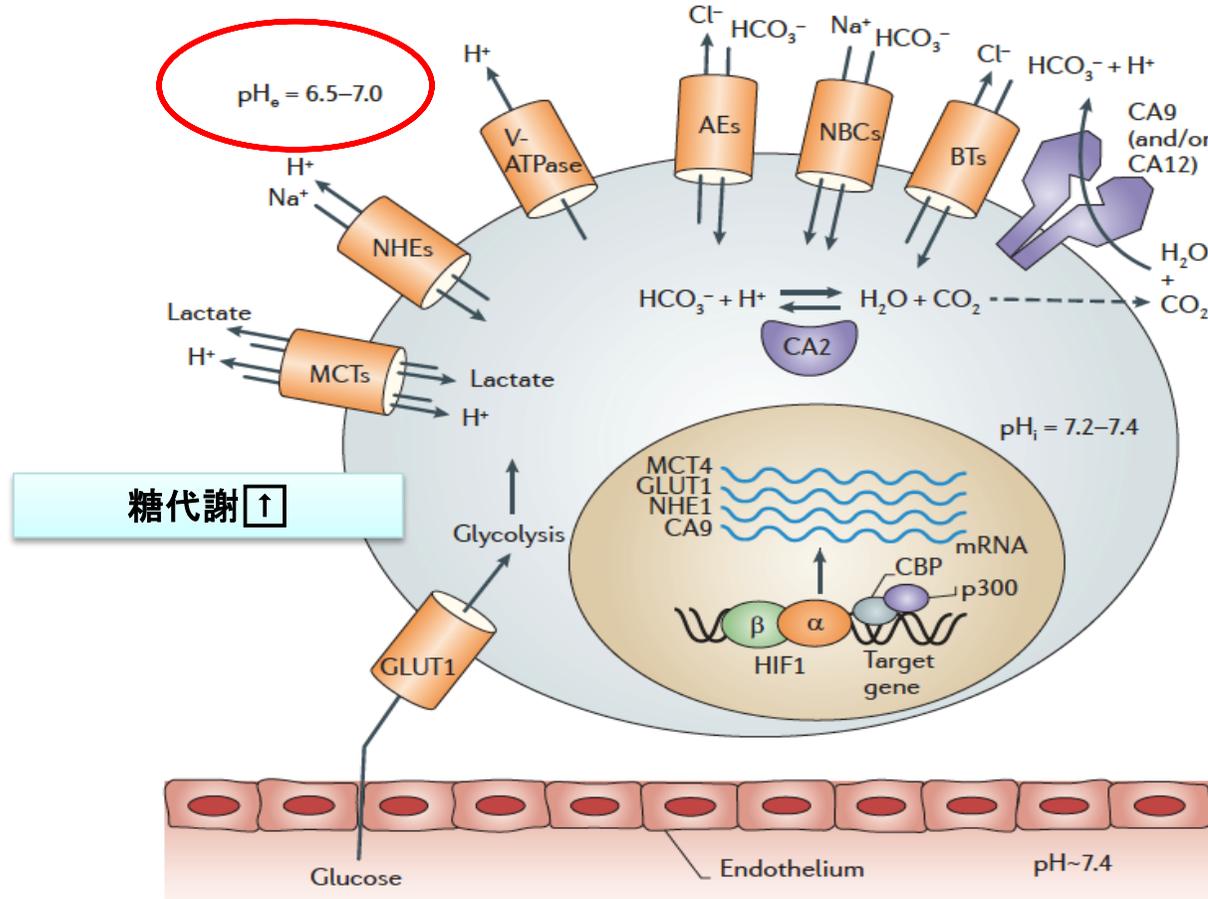
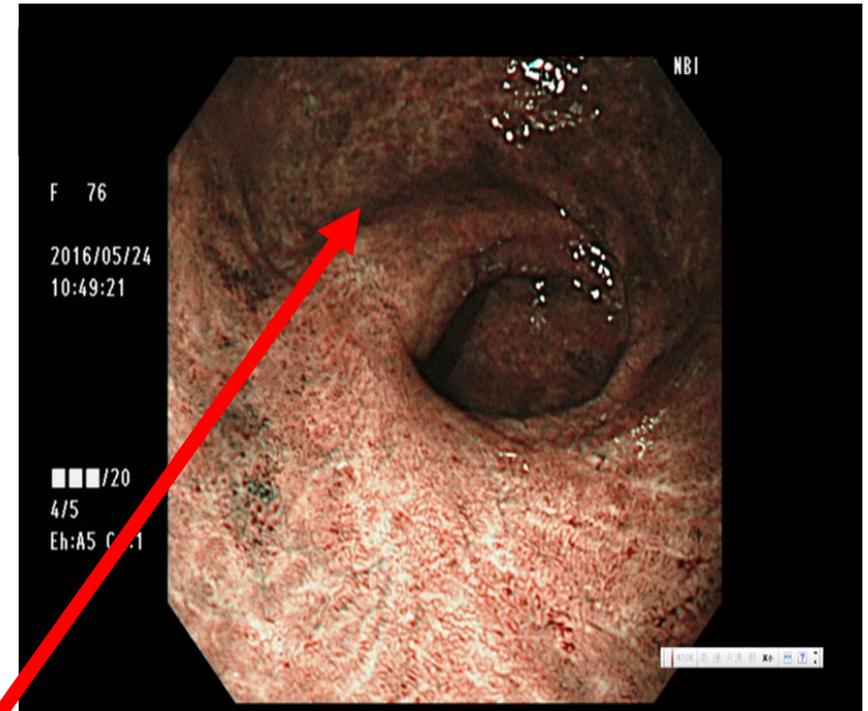
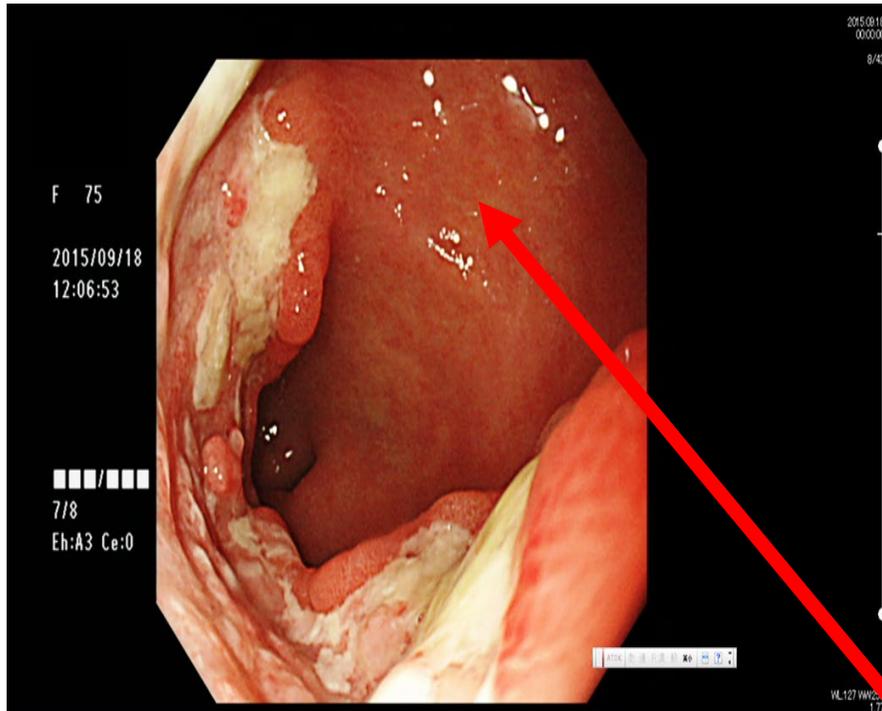


Figure 1 | **Proteins involved in pH regulation within a tumour cell.** The figure

胃のリンパ腫に対するDFP-17729の効果

2015年9月18日 ———— 約 8か月後 ———— 2016年5月24日



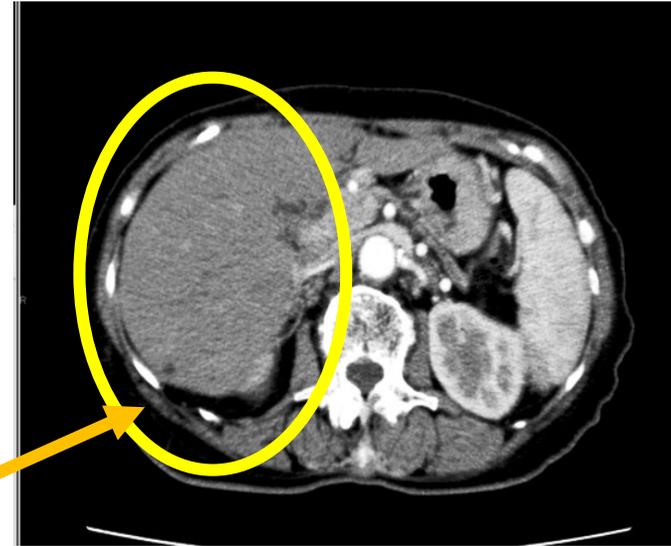
**抗がん剤治療を受けていないにも拘わらず、
アルカリ化剤だけでがんが完全消失した！**

末期の膵臓がんの高齢の男性患者

2015年3月23日

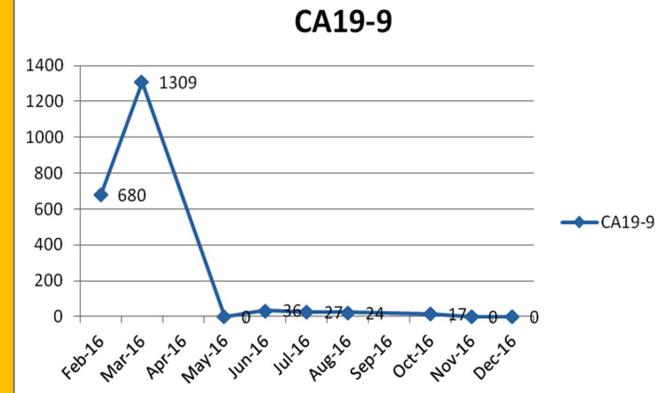
約1年8か月後

2016年11月28日



**DFP-17729と低用量の抗がん剤
投与で肝転移腫瘍が大半消失**

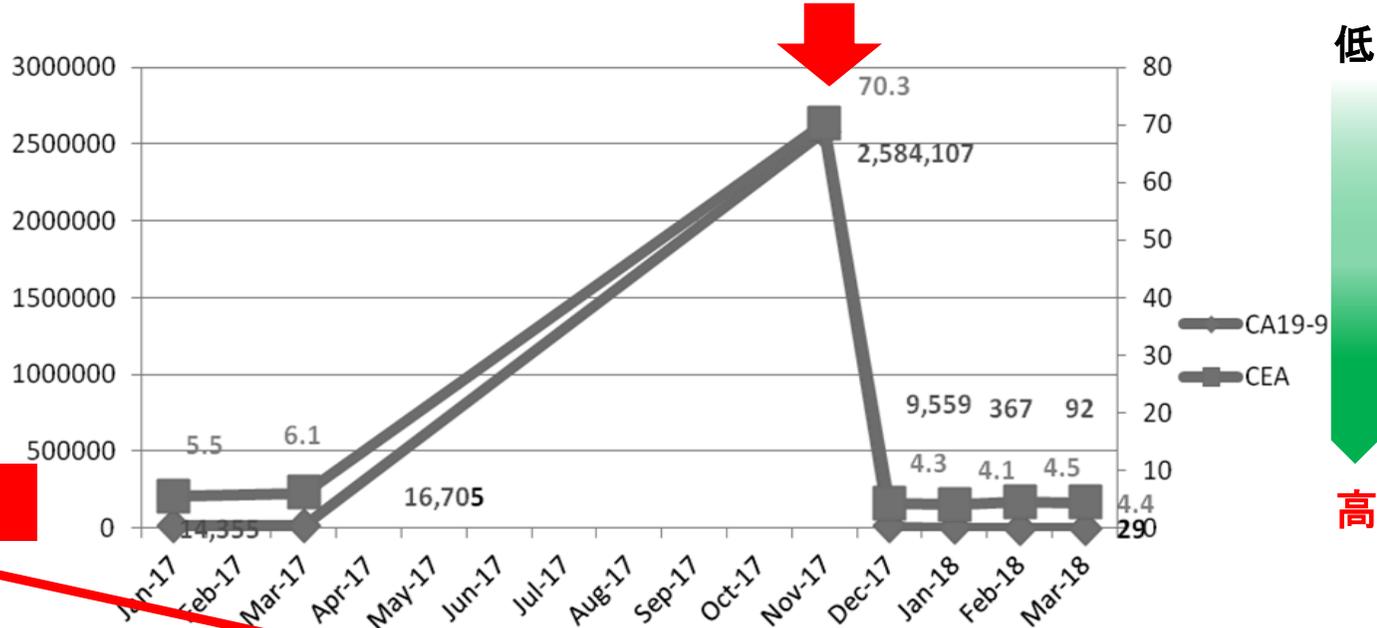
腫瘍マーカー正常化



Case Study by Dr. H. Wada, etc.

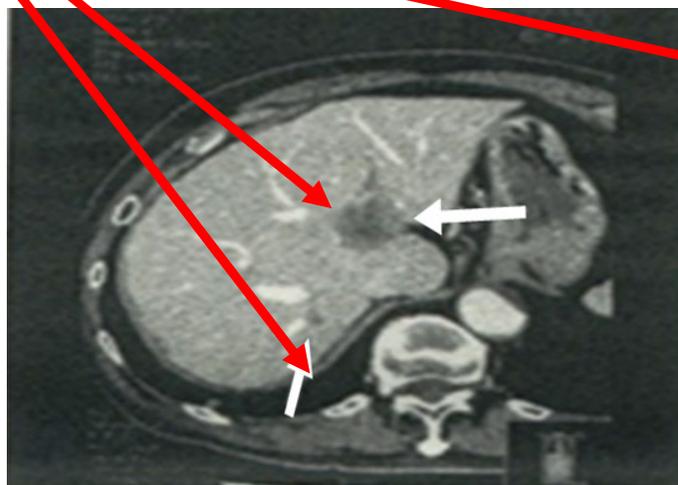
末期の胃がんの患者

オプジーボとDFP-17729(アルカリ剤)の投与

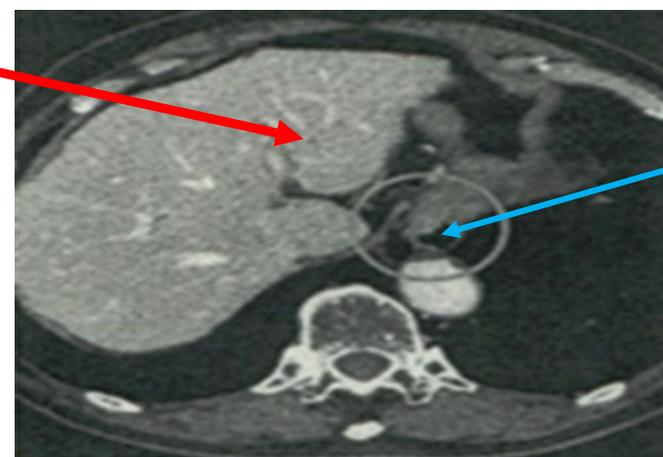


腫瘍マーカーが正常化

肝転移が消失



August, 2017



February, 2018

原発病巣も大半消失

DFP-10825 (核酸医薬)の既存薬との併用効果(腹腔内投与の意義)



大腸がん

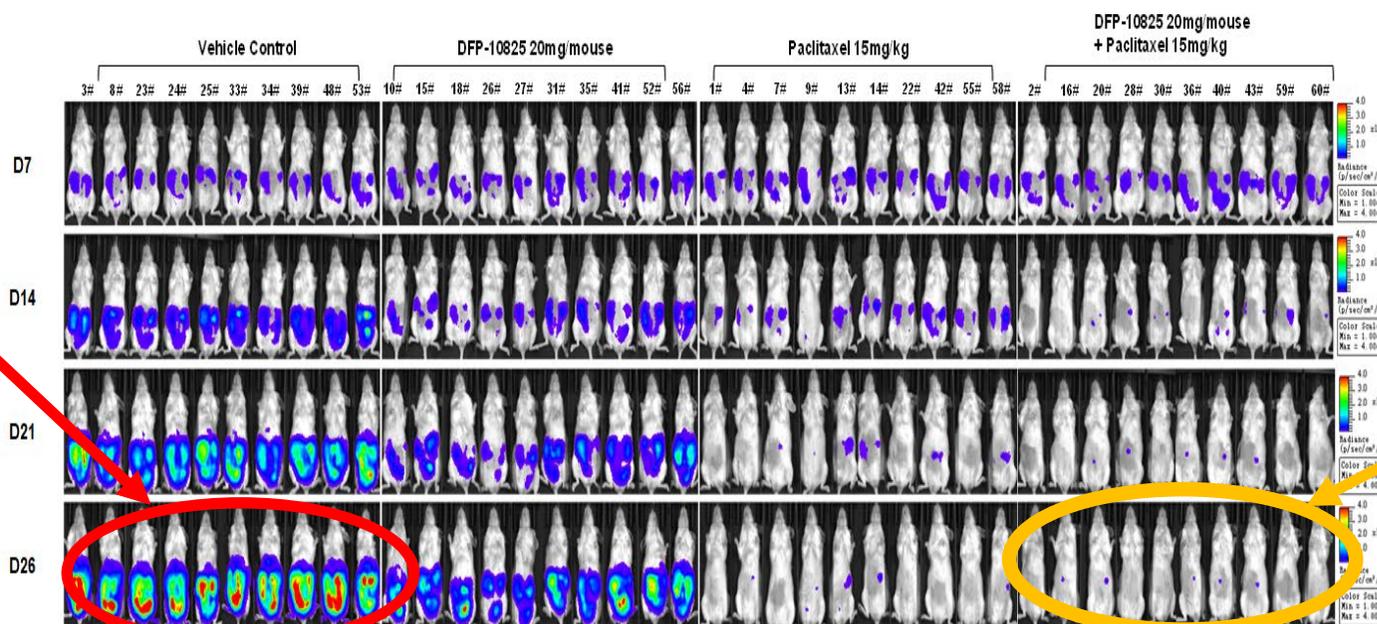
無治療

既存薬

DFP-10825

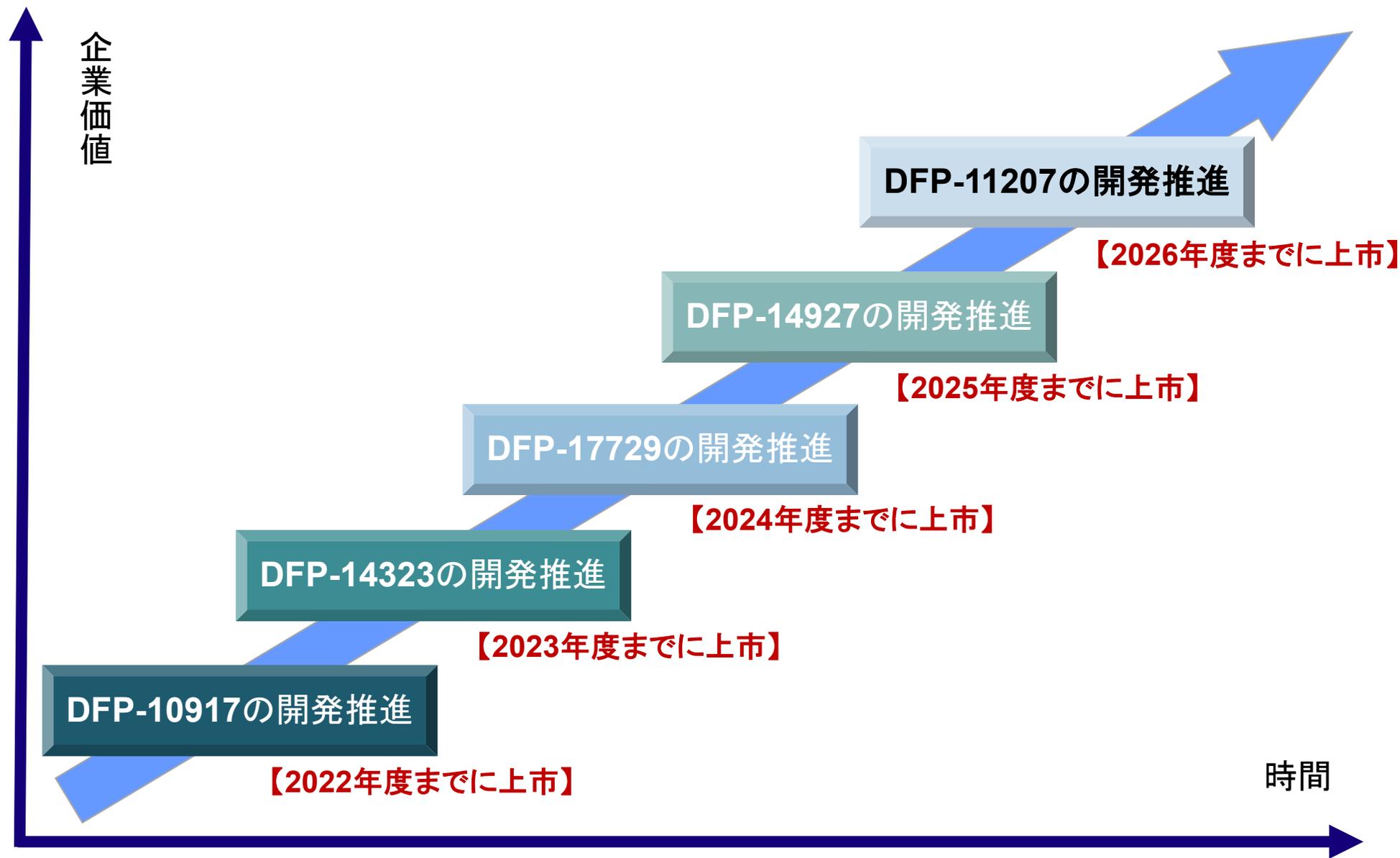
既存薬
+DFP-10825

部分消失
(DFP-10825の全身投与)



卵巣がんの
腹膜播種

完全消失
(DFP-10825の
腹腔内投与)



- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘(以下「勧誘行為」という。)を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。
- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました

今後のIRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社

電話 : 03-6231-1278

E-mail : info@delta-flypharma.co.jp

URL : <http://www.delta-flypharma.co.jp/>

